また３市町村のがれきの総量を合わせても、５５８，２万トンでしかなく、鹿島ＪＶと契約した処理量６８５，４万トンに１２７，２万トン足りない。

この総量見直し資料が作成された時点で、宮城県が、鹿島ＪＶとの契約を考えれば、石巻のがれきや女川、東松島市を加えた３市のがれきは、鹿島ＪＶによる処理だけでも足りなくなる。

したがって、この時点で宮城県は、鹿島ＪＶとの契約を処理量と契約金の下方修正を行う必要があった。そうしなければ、鹿島ＪＶは、契約通りのがれきの処理をしないで、契約金を得ることになる。

（しかし６月１９日現在、宮城県は契約変更を行っていない。）

ではそうした中でなぜ、北九州に石巻からがれきが運ばれる計画が進行しているのか？石巻から北九州に回すがれきは何処にあるのか？

③ 宮城県の発表の中から抜け落ちた鹿島 JV との契約

がれきの総量の見直しを受けて、宮城県は今年５月２１日「災害廃棄物処理対象量の見直しについて」（県受託処理分）を記者発表している。（資料３～５）この資料には、

石巻ブロックの県受託処理分の見直し前と後の数量が、

見直し前６８５万トン

見直し後３１２万トン

と記載されている。（資料４：Ｐ５）

そしてこの見直し後の数値を基準にして、

「県受託量」－（「県内処理」＋「県内拡大分」）＝「広域処理量」

の計算式で広域処理量が算出されている。

石巻ブロックは、

再生利用１２万トン、

焼却処理２８万トン、

埋め立て処分３３万トン、

合計７４万トンと広域処理量が、記載されている。（資料５：Ｐ６～７）

しかし見直し前、宮城県は県が受託した６８５万トンを、そっくりそのまま鹿島 JV に委託し、昨年の９月１６日には、契約締結していたが、この点は、この報告書にはなんら触れられていない。

見直し前の６８５万トンですら、他の都道府県の広域化に頼ることなく、プロポーサル審査で、鹿島 JV に委託していた。ところが、この報告書では、石巻ブロックのがれきから突然、広域処理するがれきが７４万トンも作り出されるのである。これは一方で鹿島 JV が処理予定している分を、他方で広域に回す分として２重カウントする状態になっている。

今回の場合、宮城県では、がれき量を大幅に下方修正しているため、鹿島JVとの契約を前提としても、鹿島JVが処理できる量は、下方修正される。そのため、契約変更が不可避である。そうしないと鹿島JVにそのまま予定の契約金１９２３億６０００万円を支払うことになる。

ところが、今回は鹿島JVに委託していたがれきを二重にカウントして、その分を北九州他に持ってこようとしていたことが分かった。

鹿島JVは、契約処理量に満たない分は、処理することなく契約金が入ることになり、逆に県や国はその分およそ数百億円を損失するだけでなく、北九州他の自治体に運ぶ分の処理費も２重に使われることになる。

２）北九州の資料による石巻市のがれき

北九州市の資料は、この宮城県の資料に基づき作成されている。そのため、この資料でも石巻のがれきは、鹿島JVに委託されている点がまったく抜け落ちている。

たとえば、北九州市の「災害廃棄物の受入れの検討について一資料１」（平成２４年５月１日）（資料６）によれば、

「２石巻市の災害廃棄物の処理の状況」として

災害廃棄物の量「推計６１６万トン」と記載し、

石巻ブロックで広域処理が必要な量は、２９４万トンと記載されている。

ここでも６１６万トンの大半（５８０万トン）は、鹿島JVが落札している点の記載がなく、広域化するという２９４万トンは、２重カウントされている。

またその後６月に発行した北九州市のパンフレット（資料７）によれば、石巻市の３１２万トンを宮城県が処理を受託し、

そのうち７３万トンを広域処理に回そうとし、

さらにそのうち２８万トンが、可燃物であり、

この２８万トンが北九州の処理の検討対象になるとしている。

このパンフレットは、見直し後に作られたものであるが、宮城県の作成資料をそのまま点検なく作成し、すでに鹿島JVに処理委託しているがれきを北九州に運ぶ計画にしている。

＜問題指摘＞

１）事実確認

＊北九州市の資料には、広域処理を予定しているがれきは、現在(H24年６月)でも７３万トンあり、その内可燃物は、２８万トンあるとなっている。しかし宮城県では、石巻ブロックのがれきは、鹿島JVに落札され、しかもがれき処理

量が大幅に下方修正されている中では、広域化に回す分は、計算上はない状態になっている。

2）問題点

その上で、北九州に石巻市からがれきを持ってくるとすれば、次の問題がある。

① 鹿島ＪＶに処理依頼する量に穴が空く。

② 北九州市に持ってくる分は、税の二重投資になる。

③ しかも北九州市は、処理費が高くなる。　　以上。

資料1：http://www.pref.miyagi.jp/shinsaihaitai/proposal/ishinomaki.pdf#search='災害廃棄物処理施設建設工事'

資料2－1：http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000113500.pdf#search='沿岸市町村災害廃棄物 4月23日'

資料2－2：http://kouikishori.env.go.jp/news/pdf/20120521c.pdf#search='沿岸市町村の災害廃棄物処理の進捗状況'

資料3～5：http://www.pref.miyagi.jp/press/pdf/120521-7.pdf#search='災害廃棄物処理対象の見直しについて'

資料6：http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000113609.pdf　北九州市災害廃棄物の受入れの検討について5月1日

資料7：http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000115681.pdf　北九州市被災地の復興のための　6月

注1：

がれき広域処理の正体・ もともと不要！　5千億円がゼネコン JV へ！

http://eritokyo.jp/independent/aoyama-column1.htm

①奈須えり　：がれき広域処理根拠なし（1）必要性無編 You Tube

http://www.youtube.com/watch?v=i3KmBjkbkU0

②池田こみち：がれき広域処理根拠なし（2）巨額使途編 You Tube

http://www.youtube.com/watch?v=dGW1uwfPGNg

③青山貞一：テレビ西日本「がれき広域処理」生番組（CUBE）出演記

http://eritokyo.jp/independent/aoyama-democ14034..html

④がれき広域処理は合理的根拠なし② 合同調査チーム速報

http://eritokyo.jp/independent/aoyama-democ1535..html